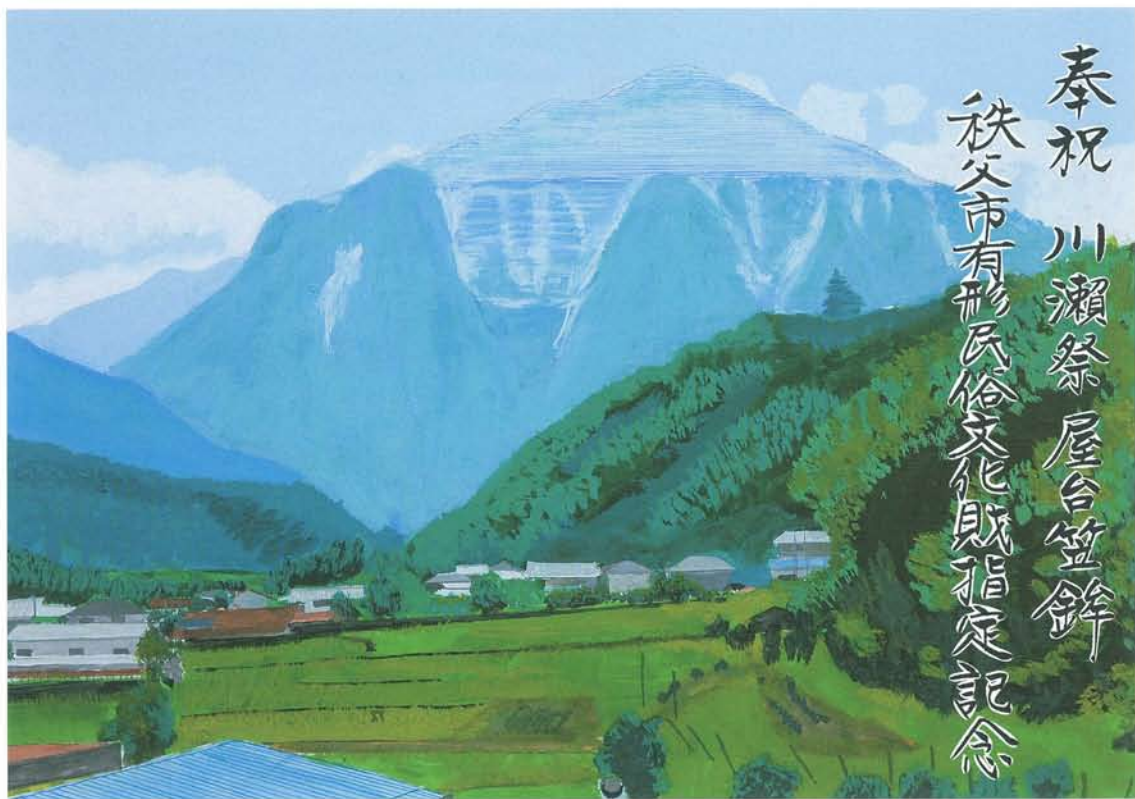


杜乃杵

秩父神社社報
杵乃杜(ははそのもり)

第 37 号

平成20年 7 月20日
(川 瀬 祭)



奉祝 川瀬祭屋台笠鉾
秩父市有形民俗文化財指定記念

見よ

三峯と兩神と

武甲の嶺の

雄々しさを

見よ

荒川の清き水

都にそそぐ

勢ひと

宵宮よいみや「天王柱てんのうばしらだ立て神事しんじ」と曳山ひきやま行事ぎょうじ

真夏の到来を告げる秩父の夏祭りだが、今年も宵宮と川瀬かわせ神事しんじをくりひろげます。

折りよく今年は週末の休日つづきで、若者も子供も心ゆくまで祭礼さいれいに浸ひたることでしょう。

しかも今年はじめて八町内の曳山が、すべて秩父市の有形民俗文化財ゆうけいみんぞくぶんかざいに指定されたのです。

すでに昭和五十七年の無形民俗文化財むけいみんぞくぶんかざいに指定された「お水取り行事みずとみずと」と共に、いよいよ夏祭りも、冬の夜祭りに負けぬ、お国自慢の祭礼文化となりました。

今年で八年目を迎える「天王柱てんのうばしらだ立て」も、おかげさまで宵宮ならではの神事となりました。

夏祭りこそその悪疫退散あくえきたいさんの祈りをこめて、霊威れいゐある須佐之男すさのをの神さまを迎える神事です。

昔ながらの「天王柱」を立てて、暑熱しょねつの疫霊えいれいを鎮圧する、このご神像しんぞうを招くのです。

文化財指定の意気揚がる笠鉦かさほご・屋台やたいが集結して、おおぜいの若衆わかいしと子若たちこわかが迎えます。

昔恐れた疫病えきびょうはともかくとして、今の悪疫は社会悪がもたらすさまざまな危害です。

今の社会の深刻な病弊びょうへいと危害という新たな悪疫から、地域の大切な子供たちを守り抜こうとする市民共同の誓いと祈りこそが、この夏祭りに結集することでしょう。

解説

秩父神社 (36)

秩父神社権禰宜 甲田豊治

◆ 社殿を彩る彫刻たち

今上陛下御即位二十年を迎える今年、まさに奉祝の年である。

この秩父においては川瀬祭夏祭りの番町・宮側町・東町・本町の屋台四基、熊木町・道生町・上町・中町の笠鉾四基計八基が秩父市有形民俗文化財に指定された。また本年「平成の名水百選」が選定され、埼玉県においては秩父から当社の御神体山である「武甲山の伏流水」が認定された。境内を流れる「柞の沢川」もこの武甲山の伏流水が流れており参拝者の憩いの場となっている。更に、秩父市黒谷に鎮座する聖神社の和銅奉獻一三〇〇年記念の催しなど、様々なお祝いが重なる年となった。そこでこの度の社殿解説においては、日本人にはとても縁起の良い題材として親しまれてゐる「鶴・亀」を取り上げてみたいと思う。



文字について少し触れてみたい。

参拝者の質問で多いのがこの「知夫」の表記についてである。万葉仮名で「知夫」として「ちちぶ」を表記すると「知知夫」と表される。この表記が、現在の「秩父」と改められたのが和銅六年五月(713)のことである。この和銅という時代は秩父にとつて、いや日本の歴史においても大きな意味を持つ時代であると言え、「和銅」については奥だよりのなかで紹介させていただくことにする。

さて、今回の鶴と亀の彫刻であるが、鶴は千年、亀は万年で知られるように長寿を祝う題材として、めでたい行事には欠かせない題材である。当社には拝殿正面の蓬莱山の鶴と亀、そして拝殿東西北面に位置する鶴仙人と亀仙人の彫刻を見ることが出来る。

社殿西側の鶴仙人から見てみると、鶴に乗る仙人というのは実は、複数いて王子喬や黄鶴楼や丁令威などが挙げ

られ、やはり縁起の良い鳥(ツル)と仙人の組み合わせは多いようである。当社の鶴仙人は、巻物を見ながら鶴に乗っている特徴から「費長房」ではないかと推察する。この仙人は、市場で役人をしていたが、その市場で薬を売る仙人・壺公と知り合いになり、費長房自身も壺公の弟子となつて、仙界に行き様々な仙人になるための試練を受けるが最後の試験に失敗し、その道を諦めることになるのだが、人間界に戻っても万病を治し、百鬼を祓い、土地神を役とするという能力は失うことなく活躍したと伝わっている。仙界にはいないが、立派な仙人に違いないと思う。

また東側の亀仙人については、以前社報第18号の解説秩父神社において、坂本才一郎先生の亀に乗る仙人は紹介されており、それを御覧いただいたたい。次に拝殿正面に位置する蓬莱山の鶴と亀であるが、扁額より右側に、口を開いた鶴が一つ・亀毛があり口を閉じた大亀が一つ、緑と黄緑の小亀が一つずつ。また扁額の左側には、口を閉じた鶴が一つと、やはり亀毛があり口を開いた大亀が一つ、そして小亀が一つという構図である。それぞれに正中を向いて構成されており、ここで気付



くのが「あ・うん」で配置され、鶴と亀とは交互にその向きを変えて表現されている。個人的な意見であるが、この拝殿正面全体(虎の彫刻を含む)を見たときに、彫刻類の数には何か意味するものがあるように思えてならない。虎の彫刻は「七」、亀の彫刻は「五」、龍の彫刻は「三」、そして鶴の彫刻が「二」という数から、虎・亀・龍は七五三からを意味し、「あ・うん」の鶴はあたかも狛犬を連想させ、神聖な領域と外界からの境を拝殿正面に表現しているのかのように思えてならないのである。



それはともかく、今回の鶴と亀に關連して最後に、もう一つ鳳凰の彫刻について触れて見たいと思う。拝殿西側にその彫刻は見え、実は鳳凰は、あ・うんの番で初めて鳳凰といい、背には亀の甲羅を持ち、また、美しく大きな翼がみえることから、海と空を体現し、海路・空路の渡航安全を願う信仰のシンボルとして広がりを見せている。当社に古くから伝わる鳳凰のお守りと一緒に、この夏すばらしい思い出づくりの旅をしては如何だろうか。

世界宗教者の提言に想う

— G8洞爺湖サミットへの働きかけをめくって —

宮司 蘭田 稔

いつときマスコミの話題をさらった日本政府主催の先進国首脳会議も、心配されたテロなどの妨害もなくどうやら無事に三日間の日程を終了し、札幌や東京を中心の大規模な警備態勢も空振りに終わったのは何よりでした。

ガソリンなど化石燃料の価格急騰と食糧危機などわれわれ庶民を直撃する喫緊の経済問題やアフリカ支援と北朝鮮問題もさることながら、最大の焦点だった「地球温暖化」対策については、中国、インド、ブラジルなど温室効果ガスの主要排出8カ国も会議に参加して「2050年までの温室効果ガス排出量の半減」という世界全体の長期目標をすべての国に求めるという同意にこぎつけたことは、ともかくも大きな成果だったとおもいます。

○

かくいう私も、皆さんと同じく今や「地球市民」のひとりとして社会内外の平和や環境問題に重大な関心をもつ立場から、日本人が大切に伝えてきた自然への畏敬という神道精神にもとづき諸宗教の関係者と実践的に協力するなかで、そのひとつ世界宗教者平和会議(WCRP)の日本委員会を通じて今回、洞爺湖サミットに先立つ七月二日、三日に札幌



で同委員会が主催した「平和のために提言する世界宗教者会議」— G8北海道・洞爺湖サミットに向けて — にも正式参加してきましたところです。

○

今回の会議は、一昨年八月に京都で開催された「第八回世界宗教者平和会議」における『京都宣言』で提唱された「共有される安全保障」という言葉をテーマに掲げ、環境・開発・核廃絶・紛争などの諸問題について、世界二十三国から集まった各宗教宗派の指導者ら約三百人が意見を交わし、その成果を「提言書」にまとめてG8首脳に訴えようというものでした。ちなみに、こうした世界宗教者の会議は、一昨年のモスクワ、昨年のケルンでのG8サミットの折にも開催されて今回が三度目でしたが、今度は日本の宗教関係者が主催するということで、まずはWCRP日本委員会があらかじめ「提言書」の原案を起草し何度か国際委員会との検討を重ねての草案を、起草委員会を中心に二日間の全体会議で練り上げたものでした。会議の最後に満場の拍手で採択された提言書は、閉会式で全文が読み上げられた後、大野松茂内閣官房副長官に手渡され、また翌

四日には国内外の参加者代表が首相官邸を訪問して福田康夫首相にもその内容をお伝えしたということです。

○

はたしてその成果が、肝心の首脳討議に活かされたかどうか実は定かではありません。

今回のG8サミットに向けては他のさまざまなNGOなど諸団体も

各方面から提言しており、マスコミの報道ではその具体的な提言の反映を見出すことはできませんが、個人的な関心からすれば、われわれ宗教者の提言で冒頭に掲げた「環境破壊と気候変動」に関連しての森林面積拡大への取り組みという呼びかけが、特に十六カ国の温室効果ガス主要排出国首脳会合の宣言で「森林」という項目に活かされたのでは、とおもっています。

○

それにしても、こうした国際会議に今まで何度も参画するた
びに抱く一種の感慨を、このたびも一層強く持ったことは、東
西の宗教文化ないし文明の違いという壁があつて、特にインド



以東のアジア諸文化が共有するはずの霊的生命観を世界共通の宗教理念に盛り込むことが至難の業だということですが。

今度の宗教者会議でも、一昨年のWCRP京都宣言での「共有する安全保障」という英語の表現を「共にすべてのいのちを守るために」と邦訳した主旨を積極的にかし、日本委員会が当初に起草した提言書で強調したはずの「全生命への畏敬」という文言と解説が、私自身の二度にわたるコメントも空しく削除されてしまいました。

せめてもの慰めは、日本語の「もったいない」という言葉を使つて物の使い捨てを諷める解説で、英訳で一旦は削られた「神仏の賜わり物」という表現を復活させたことでした。

【表紙絵解説】



この度の表紙絵画は、秩父市内の小中学校の児童・生徒による図画・作文展覧会の作品集「武甲山」から、平成19年度図画の部におきまして、秩父市長賞に選ばれた高篠中学校三年生の坂本京香さんの作品を掲載させていただきました。

この作品は、昨年8月、秩父市上山田の坂本さんの自宅近くから横瀬方向に見える武甲山を画かれたそうで、田んぼには勢いよく育つ稲の緑と、尾根にも木々の深い緑が映え、また青い空と白い雲はまさに夏の風景そのものを感じさせます。

坂本さんは、小学校一年生の時に花園から秩父市山田に移り、自然豊かな環境の中で小・中学校生活を送り、現在は吹奏楽部に在籍。美術・音楽と芸術面にその才能を発揮され、今後のご活躍が益々期待されます。

【表紙歌解説】

『秩父郡の歌』

- 一、見よ三峯と両神と 武甲の嶺の雄々しさを
見よ荒川の清き水 都にそそぐ勢いと 秩父秩父わが秩父
- 二、和銅さざげし昔より 人の心のすくやかに
み山をうづむ杉櫓 里に織りなす秩父絹 秩父秩父わが秩父
- 三、いとも畏れし皇子の宮 光榮ある御名に負ひまじつ
尊とき参るの光 世に輝やかせいぎ共に 秩父秩父わが秩父

今回の表紙歌は、佐佐木信綱作歌、信時潔作曲による作品「秩父郡の歌」を掲載させていただきました。表紙では一番の歌詞だけでしたが、ここに三番までの歌詞を掲載させていただきました。(8頁参照)

氏子青年会報告

ご挨拶

氏子青年会会長 丸岡 庸一郎



平成二十年
度氏子青年会
総会におきま
して、役員改
選のご承認を
いただき、新
体制が発足い
たしました。

この二年間、全国大会への参加、だ
んじり祭り見学、靖國神社正式参拝、
書道教室等、多くの事業を、大勢の方々
の参加で行うことができました。これ
も会員の皆様、神社職員皆様のお力添
えの賜物と感謝するしだいです。

この度、会長再任をご承認いただき
引き続き会長職を務めることとなりま
す。改めて重責を感じることでありま
す。新体制では、来年度に予定しておりま
す二十周年事業への対応と事業部の充
実をはかるとともに、新しい世代に引
き継ぎながら、今後の会のさらなる発
展を目指すことといたしました。事務
局、会計も新体制となりました。

人であれば二十歳で、ようやく大人
になる氏子青年会ですが、これを機に
会の歴史を振り返りながら、秩父のマ
チづくりへ新しい歩みを進めていく所
存です。皆様からのご指導ご協力、ご
理解を賜りますようお願いいたしまし
て、新役員を代表してのご挨拶と
させていただきます。

◆氏子青年会役員名簿

名誉会長	蘭田 稔(宮司)
顧問	大総代 浅見 武史(権宮司)
相談役	武島 利夫(中村)
	新井 直行(綱宜)
	小川 裕司(本町)
	原嶋 修(中村)
直前会長	正田 裕幸(中町)
会長	丸岡庸一郎(東町)
副会長	原嶋 清(上町)
	山本 修(上宮地)
	山崎 仁(大畑)
	吉田 恵一(中村)
幹事	手島 孝(上宮地)
副幹事	黒澤 一(宮側)
幹事部長	栗 龍馬(上町)
副幹事部長	木村 善明(上町)
	茂木 博(熊木)
	茂木 利之(中町)
	大島 隆芳(本町)
	内田 光輝(阿保)
	小石川 康彦(東町)
	岩田 善男(中村)
	宮野前信行(番場)
会 計	護守 智(道生)
事務局	岩田 勝宏(権綱宜)
	高山 敏克(宮側)
	坂本 泰孝(上町)
監 事	蘭田 建(権綱宜)
	以下 神社職員
	萩原 英一(中宮地)
	新井 理幸(中町)
常任幹事	伊古田 俊(東町)
	四十五名

ご挨拶

権弥宜 蘭 田 建



平成二十年
度氏子青年会
総会におきま
して、氏子青
年会事務局を
岩田勝宏権弥
宜より引き継
ぎ仰せつかることになりました。

鎌倉より帰郷して早二年の歳月が過ぎ、
今だ不慣れな点も多い私ですが、諸先輩
方が築き上げてきた伝統ある氏子青年会
を、丸岡会長をはじめ会員の皆様にご指
導、ご鞭撻を頂きながら盛り上げていき
たいと思いますので、どうぞ宜しくお願い
致します。

◆新人紹介

神塚 有里恵



平成元年11月14
日生
秩父市大滝出身
秩父農工科学高
校卒業。
趣味 音楽鑑賞
この四月より巫女見習として奉職
させて頂くことになりました。豊か
な自然に囲まれた素晴らしい環境の中、
先輩方の親切な御指導のもと、日々
のお務めにも少し慣れてきたところ
です。私は生れてまもなく秩父神社
で命名して頂き、幼い頃からお祝い

事や秩父夜祭など色々な行事などで
参拝に来ることが数多くありました。
しかし、歴史などについては殆ど知
らずにいましたが、これから少しづ
つ勉強を重ね皆様のお役に立てるよ
うに頑張っていきたいと思ひます。
まだまだ未熟者ではありますが、
各地域から参拝・祈願など様々な思
いで神社へ訪れる方々に親しみをも
つていただけるような巫女として、
品性を研ぎ、神明奉仕に勤しみ励み
たいと思ひますのでどうぞ宜しくお願い
致します。

内田 結 香



平成元年10月22
日生
横瀬町横瀬出身
小鹿野高等学校
卒業。
趣味 読書

今年の四月より巫女見習いとして
奉職させて頂いたことになりました。
私にとって秩父神社とは、歴史と
格式高い伝統から、あまり身近な存
在ではありませんでした。今は日
常として深く関われることが、少し戸
惑いながらも嬉しく感じています。
まだまだ、不慣れで知識も浅く、
参拝者の方々の問いかけにも上手く
答えられませんが、諸先輩方の御指
導のもと、一日も早くしっかりと皆
様方のお役に立てるよう努力して参
りたいと思ひますのでどうぞ宜しく
お願い致します。

秩父市黒谷・聖神社 和銅奉獻1300年記念



秩父市黒谷に鎮座する聖神社。この神社の社記によれば、元明天皇の慶雲五年(708)一月十一日、秩父郡(現在の秩父市

黒谷)から精錬の必要のない自然銅が発掘されました。朝廷にこの銅を献じたところ、帝は大変喜び、直ちに年号を和銅と改元し、黒谷の地に勅使を遣わして銅山を見聞、山麓の清浄な地を選び神祠を建立して大日靈貴命・国常立命・神日本磐余彥命の三柱をお祀りしたと伝わっております。

創建当時探掘した銅十三個と元明天皇下賜の銅製蜈蚣雌雄一對を内陣に納めたと伝わっておりますが、現在一對の銅製蜈蚣と二個のみの自然銅がご神宝として宝庫に納められており、更に秩父神社にも縁ある左甚五郎作と伝わる龍の面が納められております。そして、この発掘された銅を使い銅貨「和同開珎」が铸造され、貨幣経済の歴史的展開をみたのであります。今年にはまさしくこの秩父から和銅が献上されて1300年を迎え、今

年の聖神社の例大祭に併せ、様々な祝賀行事が催されました。和銅の時代に起きたおもな出来事を簡単にまとめてみますと、和銅元年(708)和銅に年号が改元され、また平城の地に新都造営の詔がでる。和銅三年(710)に平城京遷都。和銅四年(711)蓄銭叙位令公布。続く和銅五年(712)太安万侶が最古の国典『古事記』完成。和銅六年諸国に『風土記』の編纂を命じ、郡・郷名を好字二字で表し、この時知夫の名も「秩父」と表されたのでした。

まさしく今年には、秩父にとつて、いや日本にとつても誠に意味ある記念すべき年なのです。

職員結婚報告

権補宜 守屋 通夫

去る六月二十一日、東松山市松山町に住む新館栄一氏の長女愛と当社本殿大神様の大前において結婚の報告をさせていただきます。

明るく楽しい家庭を築いてゆきたいと思っております。

どうぞこれからも、氏子崇敬者の皆様方には、親しくご指導賜りますようお願い申し上げます。



お祝い申し上げます。

梟だより



秩父神社妙見講

自 平成二十年 二月
至 平成二十年 六月

二月二十七日 宮側講

長谷川正雄講元外六十一名

四月二十一日 皆野妙見講

豊田スエ講元外参百十二名

五月 一日 上蒔田妙見講

新井孝良講元外四十四名

五月 十一日 原谷講

中西貞夫講元外五百十九名

五月 十四日 安積講

坂下芳夫講元外三十二名

五月 十八日 近戸講

鳥塚金男講元外百七十二名

五月二十九日 中宮地講

新井喜代司講元代行外二百十五名

六月 八日 熊木講

高畑芳久講元外二百二十八名

六月 十四日 下宮地講

村山勇治講元外七十六名

六月 十四日 別所講

浅賀嘉友講元外九十一名

六月 二十日 日野田妙見講

荒船啓介講元外二百三十四名

六月 二十二日 本町講

守屋英雄講元外百十四名

六月 二十九日 下郷講

新井征一郎講元外四百十四名

昨年より下宮地講 村山勇治様、本年より上蒔田妙見講 新井孝良様

柞乃杜神前結婚式報告

別所講 浅賀嘉友様、中宮地講 新井喜代司様が新に講元に就任されました。どうぞ宜しくお願い致します。

秩父市阿保町 島田敏男・由華様
秩父市熊木町 齋藤 匡・馨様
秩父市上野町 根岸和也・幸子様
北本市本町 現王園電太・博子様
さいたま市 宮原伸悟・啓子様
所沢市若狹 須藤 誠・晴美様
秩父市上宮地町 鶴見桂一・ゆづ子様
秩父市荒川 黒澤貞勝・裕子様
秩父市小栗野 関根一希・香織様
秩父市品沢 関根茂治・薫様
秩父市下影森 斎藤晴樹・みさと様
熊谷市佐谷田 松田 真・綾香様
秩父市日野田 山上 哲・淳子様
秩父市大宮 齋藤裕亮・千春様
皆野町皆野 櫻井一成・菜穂子様
北海道富良野市 小河健伸・寛子様
小栗野町三山 篠田晴弘・由紀子様
秩父市滝の上町 山口昇一・美友紀様
秩父市下影森 浅見純一・恵理様
秩父市赤見台 鈴木一豊・真理子様
秩父市中村町 富田 潤・幸子様
日高市新堀 守屋通夫・愛様
滑川町みなみ野 齋藤晋也・可奈子様
秩父市大野原 福島勝也・直美様
秩父市本町 原島紀幸・智子様
末永く幸せなご家庭をお築き戴きますよう
お祈り致します。

職員辞令

神塚有里恵 巫女見習を命ず
内田結香 巫女見習を命ず
(四月一日付)

秩父宮会研修旅行報告

六月十七日～十八日日光方面

事務局員 新井君美

平成十一年にユネスコの世界文化遺産に登録された日光の社寺。とりわけ東照宮は徳川初代將軍 家康公を御祭神として創建されたお社であり、秩父宮勢津子妃殿下の祖父にあたる松平容保公が、維新後、宮司を勤めたお社でもある。

今回、特別な計らいにより、妃殿下の甥にあたる松平恒忠様・寿美枝様ご夫妻にお越しを願ひ、様々な逸話や思い出話などを伺う機会を得たのであるが、その懇親の席上、副会長の守屋勝平氏より「秩父郡の歌」というものをご披露いただいたので紹介させていた



日光東照宮前にて

だきたい。

本紙の表紙

の歌を懐かし

くご覧になら

れた方も少な

くないのでは

ないかと思う

かつて秩父地

域で愛唱され

た「秩父郡の

歌」の冒頭で

ある。作歌は

当時を代表す

る歌人であり、

万葉集の研究

などでも知ら

れる佐佐木

信綱氏。作曲

は東京音楽学

校（現東京

芸術大学）の

教授で、「海ゆ

かば」の作曲

者としても知

られる信時潔

氏によるもの

である。

この曲が完成

したのは昭和

三年九月

二十三日のこと

であり、秩父

宮両殿下

のご成婚が同



「秩父郡の歌」提供：日本近代音楽館

秩父神社付属神楽

後継者養成のお願い

秩父神社神代神楽は遡ると江戸時代・寛永年間（一六二四～一六二八）に伝えられ、昭和五十年十二月には国指定無形文化財の選定を受けたています。古典神話で構成された演目は三五座で熱劇の演劇的な表現が多いのが特徴です。

現在、主任をはじめ十七名で例大祭を中心に各祭事に奉納しています。県内でも依頼を受け、平成十四年には海外公演も果し高く評価されました。また、来る平成二十五年秋に伊勢神宮で斎行される「第六十二回・式年遷宮」の祝賀行事に奉納が予定されています。

その中、先人から伝授されてきた技を正確に奉仕出来るよう、月の第一・第三月曜日に神楽殿に於いて諸先輩方のご指導を仰ぎながら練習会を行っています。

私共と神楽を継承して頂ける方、

興味がある方、

方はお気軽

にお声かけ

下さい。先

ずは稽古の

様子を見学

してみても

如何でしょ

うか。神楽

師一同、お

待ちしてお

ります。



編集後記

■子供たちの健やかな成長を願うこの川瀬祭ではありますが、特に青宮に行われる「天王柱立て神事」の祭神牛頭天王（実は素佐之男神）には次のようなお話が伝わっております。

ある時牛頭天王が妃を捜す旅の途中、一夜の宿を借りようと、とても裕福な家を訪ねました。しかし、門前払いにされ、困っていると近くにその裕福な弟（巨旦将来）とは逆の大変貧しい暮らしをしている兄の家があると聞き訪ねることにしました。本当に粗末な暮らしぶりではありますが、困っている時はお互い様と快く親切に因てなしてくれたそうです。このことにとても感動した天王は、この貧しくも思いやりがあり、気持ちの優しい兄（蘇民将来の子孫末代まで災いのないようにと茅ノ輪のお守りを受けたそうです）牛頭天王の悪疫除けの御神徳と蘇民将来の優しい思いやりの心をこの川瀬祭りの祭事を通して子供たちも実感してほしいと思います。



※本報の用紙は再生マツト紙を使用しています

平成二〇年（二〇〇八）七月二〇日

編集 秩父神社事務局

発行 秩父神社事務局

〒366-0404 埼玉県秩父市番場町一三

TEL 〇四九四二二一〇二六二

FAX 〇四九四二四一五五九六

印刷所 有限会社 拡文社印刷所

〒366-0404 秩父市東町二七一八